

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本板硝子株式会社（証券コード:5202）

【クレジット・モニター指定】

長期優先債務格付	BBB+	#BBB+/ネガティブ
債券格付	BBB+	#BBB+/ネガティブ

格付事由

- （1）ピルキントン社を傘下に擁する世界シェアトップクラスの板ガラスメーカー。
- （2）本日、当社は、収益性改善施策と12/3期連結業績予想の修正について発表した。後者では急激な環境悪化を理由としており、売上高予想を200億円、営業利益予想を210億円、当期利益予想を170億円それぞれ下方修正し、当期利益は20億円の赤字予想とした。
- （3）JCRは10/3期の業績悪化に対応した事業構造改革により一定の利益は確保できる収益体質になったと考え、収益の回復状況を注視していた。しかしながら今般の当社発表は、前回の事業構造改革以降の環境再悪化により、構造改革を再度余儀なくされる事態に至ったことを表している。今後の当社収益や財務構成はこれまでのJCRの想定と乖離することは避けられないと考えられ、当社の長期優先債務及び債券をクレジット・モニターの対象とし、見直し方向ネガティブとした。なお、国内CP格付についてはクレジット・モニターの対象外とした。

（担当）山本 昇治・井上 肇

格付対象

発行体：日本板硝子株式会社

【クレジット・モニター指定】

対象	格付
長期優先債務	#BBB+/ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2008年5月22日	2013年5月22日	2.24%	#BBB+/ネガティブ
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	240億円	2010年12月9日	2015年12月9日	1.55%	#BBB+/ネガティブ
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2011年7月28日	2016年7月28日	1.22%	#BBB+/ネガティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2012年2月2日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：山本 昇治
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp>）の「格付方針等」に「信用格付の種類と記号の定義」として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp>）の「格付方針等」に、「一般事業法人の信用格付方法」として掲載している。格付方法は追加・変更されることもあるが、その場合は時系列的に掲載する。本リリースの公表日と格付方法の公表日（各方法が有効となった日）とを照らし合わせた上で、上記格付方法を参照されたい。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日本板硝子株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・発行体が提供した発行体の監査済財務諸表
・発行体が提供した発行体の業績、経営方針などに関する資料および説明
・発行体が提供した格付対象の商品内容に関する書類
・経済・業界動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

長期優先債務格付と短期優先債務格付：債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付と位置づけています。個別債務の評価（債券の格付、ローンの格付等）では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付が長期優先債務格付と異なること（上回ること、または下回ること）もあります。

予備格付：予備格付について、実際に債券が発行される場合には、その都度発行条件等を確認し改めて個々の債券を格付します。

クレジット・モニター：JCRが発表した格付につき、定期的な見直しを行う場合に加えて、戦争、大きな事故、合併、訴訟、行政措置、大幅な業況の変化など格付変更の可能性がある場合と判断した場合には、クレジット・モニターの対象とし随時格付の見直し作業を行うとともに、その旨を「クレジット・モニターの対象に指定した」と発表しています。クレジット・モニターの対象となった格付には、それが解除となるまで格付記号の前に「#」が付けられます。クレジット・モニターには、格上げの可能性が高いことを示す「ポジティブ」、格下げの可能性が高いことを示す「ネガティブ」、格上げ、格下げ、格付据え置きいずれの可能性もあることを示す「方向性不確定」があります。なお、「ポジティブ」と「ネガティブ」は格上げや格下げを予告するものではありません。

情報提供電子メディア（検索コード）

BLOOMBERG（和文:JCR / 英文:JCR） REUTERS（JRSI120） QUICK（和文:QR / 英文:QQ） JIJI PRESS

本件に関するお問い合わせ先

情報・研修部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル